1

車を運転する前に

●各部の開閉
キーの種類……42
ドアの施錠・解錠……47
パワートランク／トランク……56
ボンネット……71
燃料補給口……72
パワーウィンドー……75
サンルーフ……79

●セキュリティーシステム
イモビライザーシステム
　について……84
セキュリティーアラーム
　システムについて……85

●シートの調節
正しい運転姿勢……88
フロントシート……90
リヤシート……92

●ハンドル・バックミラーの調節
電動チルト／テレスコピック
　ステアリング（電動上下／
　　前後調節式ハンドル）……94
ルームミラー……96
ドアミラー……97

●ドライビングポジションシステム
ドライビングポジション
　システムについて……102

●シートベルト
シートベルト……106
着用のしかた……112

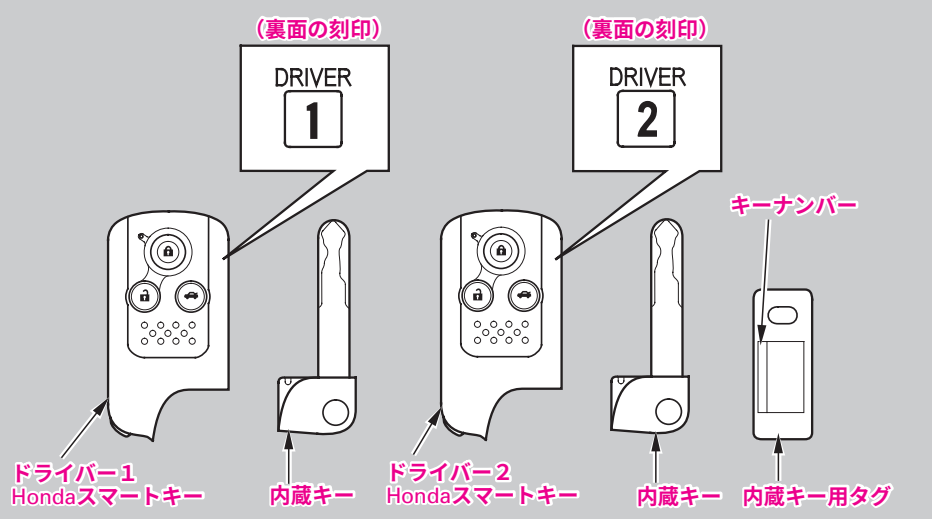
●チャイルドシート固定装置
チャイルドシート固定機構付き
　シートベルト（後席）……114
車両限定型ISOFIX取付装置
　（後席外側２座席）……116

各部の開閉

キーの種類

この車には、以下のキーが付いています。
すべてのキーには、イモビライザー機能（車両盗難防止装置）が付いています。

イモビライザーシステムについて　→84ページ



知　識

- タグにはキーナンバーが表示してあります。内蔵キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したいときは、Honda販売店へご連絡ください。

●Hondaスマートキー（キーレスエントリー機能付き）

この車はHondaスマートキーシステムを装備しています。Hondaスマートキーを携帯すると、すべてのドアの施錠・解錠やエンジンの始動およびトランクを開けることができます。
キーレスエントリーではすべてのドアの施錠・解錠とトランクを開けること（パワートランク装備車は自動開閉）ができます。

ドアの施錠・解錠　→47ページ
パワートランク／トランク　→56ページ
エンジンスイッチノブ　→160ページ

Hondaスマートキーにはドライバー1、ドライバー2があり、キー裏面に番号が刻印されています。
Hondaスマートキーまたはスマートエントリー機能を使って解錠すると、ドライバー1かドライバー2を識別し、解錠と連動して、以下の項目をあらかじめ設定した状態に自動的に調節します。
設定は、ドライバー1、ドライバー2でそれぞれ行うことができます。

ドライビングポジションシステム　→102ページ
エアコンの設定　→281ページ
カスタマイズ機能　→330ページ

知識

●左記の設定を解錠と連動しないようにすることができます。

カスタマイズ機能とHondaスマートキーの非連動について　→352ページ

●Hondaスマートキーまたはキーレスエントリー機能を使って解錠したときは、エンジンスイッチノブを“II”にするとマルチインフォメーションディスプレイに識別されたドライバー1またはドライバー2が表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ　→124ページ

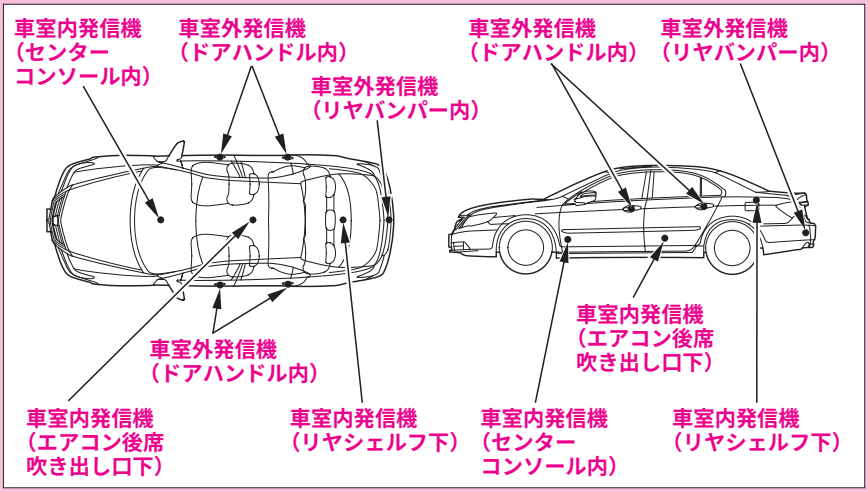
バレット機能

ホテルや駐車場などで他の人に車を預けるときはHondaスマートキーから内蔵キーを取り出して、Hondaスマートキーを渡してください。
あらかじめグローブボックス内のトランクメインスイッチを“OFF”にし、グローブボックスとアームレストスルーを内蔵キーで施錠すると、他の人がグローブボックスやトランクを開けることができなくなります。

内蔵キー　→45ページ
トランクメインスイッチ　→61、70ページ
グローブボックス　→322ページ
アームレストスルー　→321ページ

⚠注意

- ドアやトランクを施錠・解錠するときやエンジンスイッチノブを操作するとき、トランクを開けるときなどに車両からHondaスマートキーシステムの電波が発信されます。
  その際、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える可能性があります。
  車両に搭載されている発信機から22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が近づかないようにしてください。
  その他の医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。



●内蔵キー

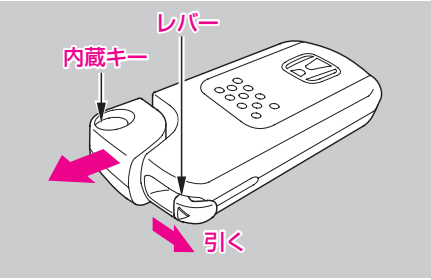
内蔵キーはエンジンの始動・停止、ドア、グローブボックス、アームレストスルーの施錠・解錠のほかに、ドアの施錠・解錠時にパワーウィンドー、サンルーフの開閉をすることができます。

ドアの施錠・解錠　→47ページ
エンジンスイッチ　→168ページ
グローブボックス　→322ページ
アームレストスルー　→321ページ
パワーウィンドー　→75ページ
サンルーフ　→79ページ

Hondaスマートキーの電池が消耗したときや故障したときなどを考慮して、内蔵キーはHondaスマートキーに収納した状態で携帯してください。

取り出すとき

レバーを引きながら取り出します。



収納するとき

“カチッ”と音がするまで差し込みます。

知　識

- 内蔵キーにはドライバー1およびドライバー2の識別はありませんので、ドアの解錠によるドライバー1およびドライバー2の設定の切り換えはできません。
- エンジンスイッチを“II”にすると、マルチインフォメーションディスプレイにドライバー1またはドライバー2が表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ　→124ページ

- グローブボックス、アームレストスルーの施錠・解錠ができるのは、内蔵キーのみです。
  ホテルや駐車場などで車を預けるときにバレット機能を使用すると、他の人がグローブボックスやトランクを開けることができなくなります。

バレット機能　→43ページ

アドバイス

- Hondaスマートキーおよび内蔵キーには、信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - 直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
  - 衝撃を与えないでください。
  - 水にぬらさないでください。
  - 分解しないでください。
  - 火であぶったりしないでください。
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けないでください。
  - テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。
- 電子部品が故障すると、エンジンの始動ができなくなったり、Hondaスマートキーシステムおよびキーレスエントリーが正常に作動しなくなったりします。そのようなときは、Honda販売店にご連絡ください。

知 識

- Hondaスマートキーシステムは、車両とHondaスマートキーとの電子照合を行うときに微弱な電波を使用しています。
  次のような場合、正常に作動しなかったり、不安定な動作となることがあります。
  - 近くに強い電波を発する設備があるとき。
  - Hondaスマートキーを携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンなどと一緒に携帯しているとき。
  - Hondaスマートキーが金属物に触れていたり覆われているとき。
- Hondaスマートキーは常に電波を受信しているため、強い電波を受信し続けた場合は、電池を著しく消耗することがあります。
  テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。
- Hondaスマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況によりますが約２年です。

電池消耗警告　→167ページ
電池交換のしかた　→401ページ

ドアの施錠・解錠

●Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき ……48
●キーレスエントリーで施錠・解錠するとき ……51
●内蔵キーで施錠・解錠するとき ……52
●車内から施錠・解錠するとき ……52
●キーを使わないで施錠するとき ……53
●チャイルドプルーフ ……54
●オートドアロック ……55
●オートドアアンロック ……55
●衝撃感知ドアロック解除システム ……55

⚠注意

●走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知 識

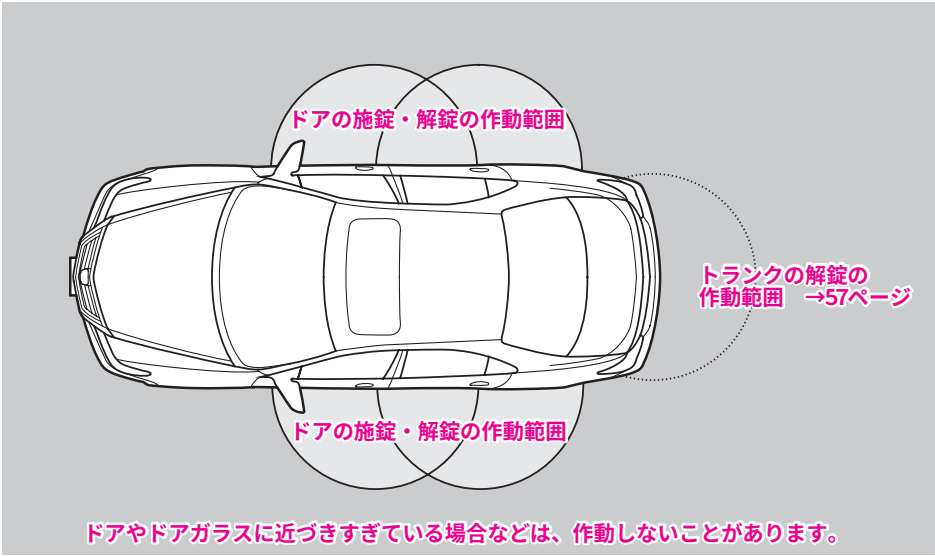
●ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
●強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
●車から離れるときは、エンジンを止め、ドアとトランクを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
●運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

照明灯　→308ページ

●Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき

ドアの施錠・解錠の作動範囲

ドアの施錠・解錠が作動する範囲は、ドアハンドルから周囲約80cmの範囲です。



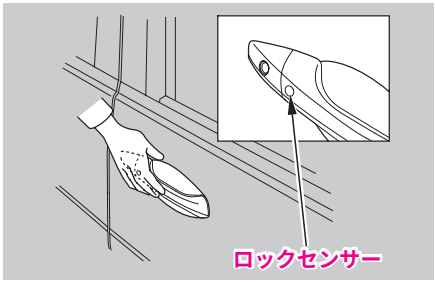
Hondaスマートキーは運転者が携帯してください。車内にHondaスマートキーを残したまま降車しないでください。

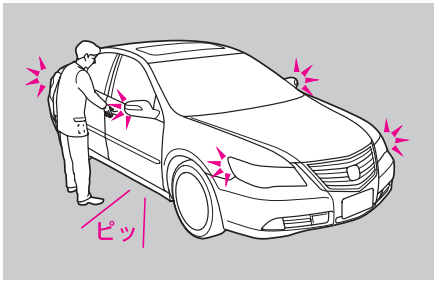
知　識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
  内蔵キーで施錠・解錠するとき　→52ページ
- ドアハンドルより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- 運転席ドアが施錠されているときに、トランクを閉めると、トランクも施錠されます。

ドアの施錠

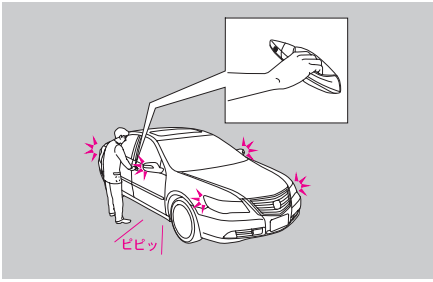
すべてのドアが閉まっているのを確認します。各ドアハンドルのロックセンサーに触れると、すべてのドアとトランクが施錠されます。このとき、アンサーバックブザーが“ ピッ ”と鳴り、非常点滅表示灯が１回点滅します。





ドアの解錠

各ドアハンドルを握ると、すべてのドアとトランクが解錠されます。このとき、アンサーバックブザーが“ ピピッ ”と鳴り、非常点滅表示灯が２回点滅します。



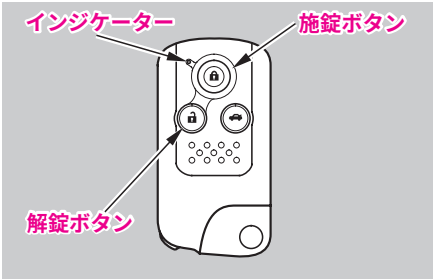
知 識

- Hondaスマートキーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- Hondaスマートキーを携帯している人が同じ側の作動範囲内にいるときは、Hondaスマートキーを携帯していない人がロックセンサーに触れても施錠され、ドアハンドルを握っても解錠されます。
- 革製やスキー用の手袋などをつけてロックセンサーに触れたり、ドアハンドルを握ったりした場合、施錠・解錠が遅れたり、施錠・解錠されないことがあります。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルをもう一度握り直し、解錠されていることを確認してから引いてください。
- Hondaスマートキーが、ドアの施錠・解錠の作動範囲内にある場合、大雨や洗車などでドアハンドルに多量の水がかかると、ドアが解錠されることがあります。解錠してから30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- ドアを施錠後、約２秒間はドアハンドルの内側に触れても、ドアが解錠しないようになっています。（アンロックセンサー禁止時間）
- 施錠・解錠時のブザー（アンサーバックブザー）の音量を変えることや、ブザーが鳴らないようにすることができます。

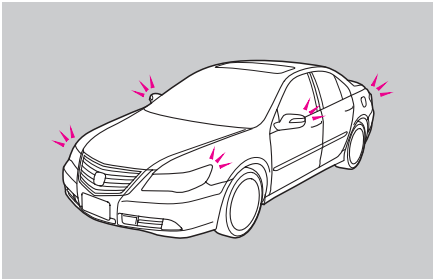
カスタマイズ機能　→330ページ

●キーレスエントリーで施錠・解錠するとき

施錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが施錠され、解錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが解錠されます。



キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は１回、解錠時は２回点滅します。



知　識

- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は電池切れです。
  電池交換のしかた　→401ページ

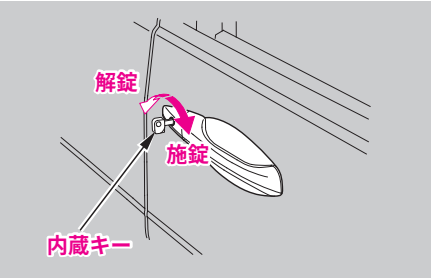
知　識

- 施錠・解錠時に非常点滅表示灯を点滅させないようにすることができます。
  カスタマイズ機能　→330ページ
- 施錠・解錠ボタンを使ってパワーウィンドーとサンルーフの開閉をすることができます。
  パワーウィンドー　→76ページ
  サンルーフ　→81ページ
- キーレスエントリーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- 再度施錠されるまでの時間の設定を変更することができます。
  カスタマイズ機能　→330ページ
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。
  照明灯　→308ページ
- 次の場合、キーレスエントリーは作動しません。
  - エンジンスイッチノブが“０”（プッシュオフ）以外のとき
  - エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき
  - ドアが開いているとき。（施錠時のみ）

●内蔵キーで施錠・解錠するとき

内蔵キーを確実に差し込んで回します。運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠(解錠)します。

内蔵キー　→45ページ



知　識

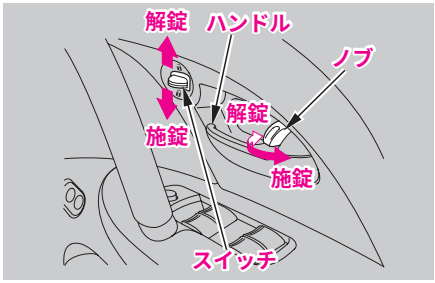
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。

照明灯　→308ページ

●車内から施錠・解錠するとき

運転席ドア

運転席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアとトランクの施錠(解錠)ができ、ノブを操作すると、ドアは施錠のみ連動し、トランクは施錠、解錠が連動します。



運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していても開けることができます。

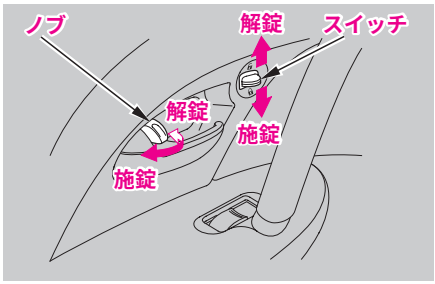
知　識

- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。

照明灯　→308ページ

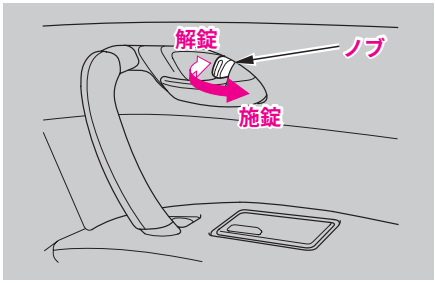
助手席ドア

助手席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアとトランクの施錠(解錠)ができ、ノブを操作すると、助手席ドアが施錠(解錠)します。



後席ドア

ノブを施錠(解錠)の方向に動かします。



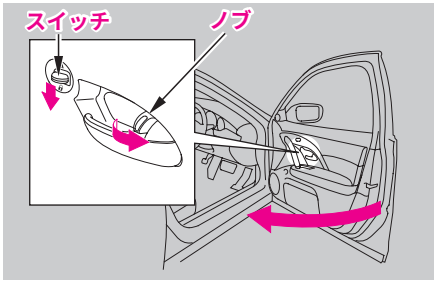
●キーを使わないで施錠するとき

知　識

●Hondaスマートキー、内蔵キー閉じ込み防止のため、Hondaスマートキー、内蔵キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

①ドアのハンドルを引いたままノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠されます。

・Honda スマートキー閉じ込み防止装置

Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

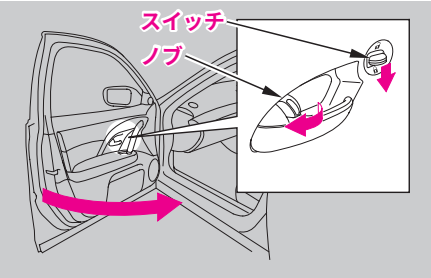
エンジン始動の作動範囲　→161ページ

・内蔵キー閉じ込み防止装置

内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

助手席ドア

①運転席ドアが閉まっている状態でスイッチを施錠の方向に動かします。



②ドアを閉めます。
このとき他のすべてのドアやトランクも同時に施錠されます。

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めると、助手席ドアのみが施錠されます。

・Honda**スマートキー閉じ込み防止装置**

Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

エンジン始動の作動範囲　→161ページ

後席ドア

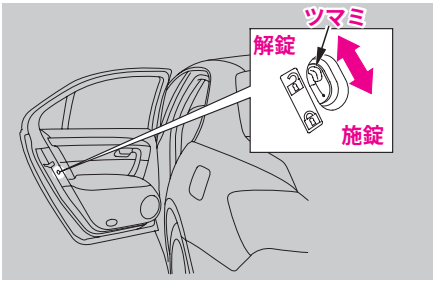
ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

●チャイルドプルーフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。

▼

ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

知　識

●車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

●オートドアロック

車速連動

車速が約15km/h以上になると、すべてのドアとトランクが自動的に施錠されます。

知 識

- オートドアロックの作動条件を、セレクトレバー連動に設定したり、その機能を解除することができます。
（工場出荷時は、車速連動に設定されています。）
カスタマイズ機能　→330ページ

●オートドアアンロック

セレクトレバー連動

セレクトレバーをPに入れたときに、すべてのドアとトランクが自動的に解錠されます。

知 識

- オートドアアンロックの作動条件を、エンジンスイッチノブ連動に設定したり、その機能を解除することができます。
（工場出荷時は、セレクトレバー連動に設定されています。）
カスタマイズ機能　→330ページ

●衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドアとトランクを解錠します。

作動するとき

正面からの衝撃では、SRSエアバッグが作動したときに解錠します。
側面からの衝撃でサイドエアバッグが作動したときにも解錠します。
エアバッグが作動しない後面からの衝撃では、衝撃が大きいと解錠します。
安全性を考慮して、衝撃が加わってから約10秒後に解錠します。

知 識

- 衝撃の加わりかたや、大きさによっては解錠しない場合があります。

パワートランク／トランク

●施錠・解錠

ドアが解錠（施錠）している場合

Hondaスマートキー、キーレスエントリー、フロントドアスイッチ、運転席ドアのノブなどでドアを施錠（解錠）すると、トランクも施錠（解錠）します。

ドアの施錠・解錠　→47ページ

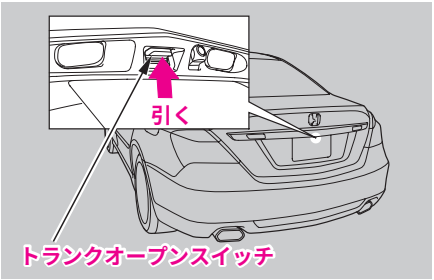
運転席ドアが施錠されているときに、トランクを閉めると、トランクも施錠されます。

運転席ドアが解錠されているときは、トランクを閉めても、トランクは施錠されません。

Hondaスマートキーを使ってトランクのみを解錠する場合

Hondaスマートキーを携帯して、トランクオープンスイッチを引くと、トランクが解錠されます。このときアンサーバックブザーが“ピッ”と鳴ります。

パワートランクの開閉　→58ページ
トランクの開閉　→68ページ



知　識

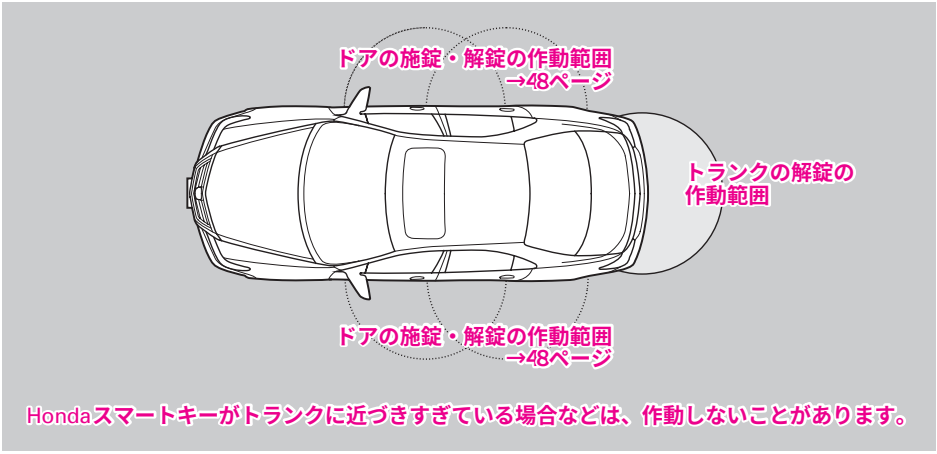
- 解錠時のブザー（アンサーバックブザー）の音量を変えることや、ブザーを鳴らないようにすることができます。

  カスタマイズ機能　→330ページ

- トランクメインスイッチが“OFF”のときはトランクを解錠できません。

  トランクメインスイッチ　→61、70ページ

トランクの解錠の作動範囲は、トランクオープンスイッチから周囲約80cmの範囲です。



Hondaスマートキーは必ず携帯してください。トランク内にHondaスマートキーを置かないでください。

知 識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
  内蔵キーで施錠・解錠するとき　→52ページ
- Hondaスマートキーが作動範囲内にあると、Hondaスマートキーを携帯していない人でも、トランクオープンスイッチを押すと、トランクを開けることができます。
- トランクオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- トランク内にHondaスマートキーを置き忘れると、トランクを閉めてもブザーが鳴りトランクが浮き上がります。
  Hondaスマートキー閉じ込み防止装置　→66、70ページ

●パワートランクの開閉

タイプ別装備

⚠注意

- パワートランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
  やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。
  ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- パワートランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

アドバイス

- パワートランクが開かないとき
  →403ページ

知 識

- パワートランクを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 運転席ドアを施錠したあとにトランクを閉めると、施錠されてトランクが開かなくなります。
- パワートランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
  - Hondaスマートキーをトランク内に置き忘れないでください。
  - パワートランク上面を強く押さえないでください。
- パワートランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。

トランクオープンスイッチを使ってパワートランクを自動で開けることができます。
キーレスエントリー及びトランクオープナーを使ってパワートランクを自動で開閉することができます。
また、トランクにあるクローズスイッチを押して自動で閉めることができます。

パワートランクの自動開閉は、次の条件が揃ったときに行えます。

（開けるとき）
- パワートランクが全閉のとき
- セレクトレバーがⓅのとき
- グローブボックス内のメインスイッチが“ ON ”のとき
- パワートランクが解錠されているとき（Hondaスマートキーを使わずにトランクオープンスイッチを操作するときのみ）
- エンジンスイッチノブが“ 0 ”のとき（キーレスエントリー操作時のみ）
- エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき（キーレスエントリー操作時のみ）

（閉めるとき）
クローズスイッチおよびトランクオープナーで閉めるときは、
- パワートランクが全開のとき

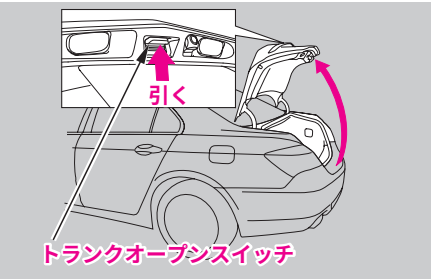
キーレスエントリーで閉めるときは、
- パワートランクが全開のとき
- エンジンスイッチノブが“ 0 ”のとき
- エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき

⚠注意
- パワートランクを開閉するときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認し、頭をぶつけたり、手などをはさんだり、他の物とぶつからないようにしてください。特にお子さまには気をつけてください。
- パワートランクが自動開閉中にパワートランクのオープンスイッチを引くと、手動操作に切り換わります。このとき、パワートランクの位置によっては急に開閉することがあるので注意してください。

トランクオープンスイッチで行う場合

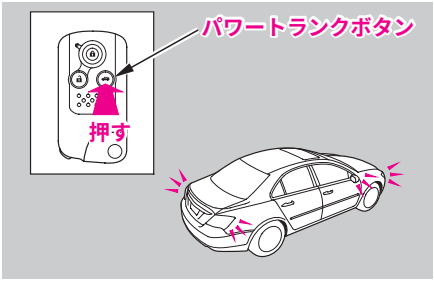
スイッチを0.5秒未満引くとトランクは自動で開きます。このとき“ ピー ”とブザーが鳴ります。

スイッチを0.5秒以上引くと手動での操作となります。トランクを静かに引き上げてください。



キーレスエントリーで行う場合

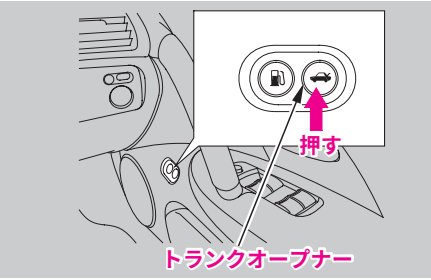
パワートランクボタンを約１秒押すと、パワートランクが開き(閉まり)ます。このとき、“ ピー ”とブザーが鳴り、非常点滅表示灯が４回点滅します。



開閉中にパワートランクボタンを押すと“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。

トランクオープナーで行う場合

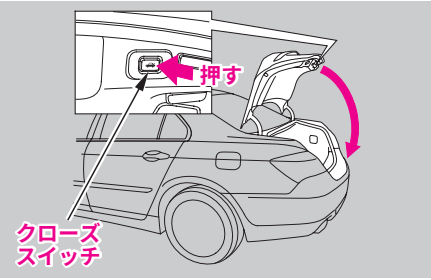
運転席ドアのトランクオープナーを約1秒押すと、パワートランクが開き(閉まり)ます。
このとき、“ ピー ”とブザーが鳴り、非常点滅表示灯が4回点滅します。



開閉中にトランクオープナーを押すと“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。

クローズスイッチで行う場合

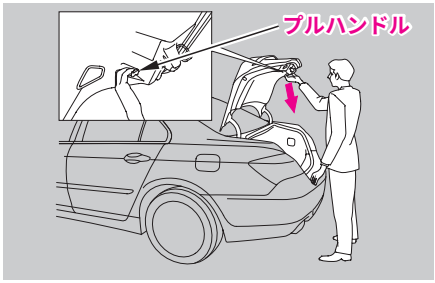
クローズスイッチを押すと、パワートランクが閉まります。
このとき、“ ピー ”とブザーが鳴ります。



閉じている間にクローズスイッチを押すと“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。

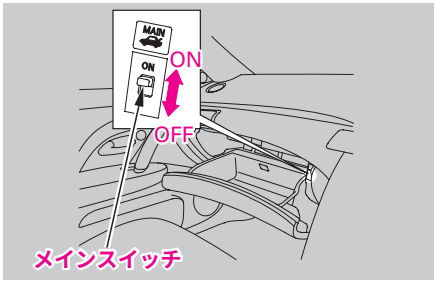
手動で閉める場合

閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。



トランクメインスイッチ

グローブボックス内のメインスイッチを“ OFF ”にするとトランクを開けることができなくなります。



知 識

- 荷物の出し入れは、パワートランクが完全に開ききったことを確認してから行ってください。
- 次のような場合、パワートランクが確実に開閉しないことがあります。
  - 開閉中にエンジンを始動したとき
  - 傾斜している場所
  - 風の強いとき
  - パワートランクに雪が積もっているとき
    （開閉する前に雪を取り除いてください）
- セレクトレバーがⓅ以外のときに、トランクオープナーを約１秒押すとトランクが解錠され浮き上がります。
- パワートランクが確実に閉まったことを確認してから走行してください。
- パワートランクが自動で開いている途中にセレクトレバーをⓅ以外の位置にすると“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り、作動が停止します。
- パワートランクが自動で閉まっている途中に走行をはじめると“ ピーピーピー ”とブザーが鳴ります。

知 識

- パワートランクが完全に閉まっていない状態で下記の条件が揃うと“ ピーピーピーピー ”とブザーが鳴ります。
  - エンジンスイッチノブが“ II ”の位置にある。
  - セレクトレバーがⓅ以外の位置にある。
  - ブレーキペダルを踏んでいない。
  - パーキングブレーキが解除されている。
- 走行中は、トランクオープンスイッチを引いてもパワートランクを開くことはできません。
- パワートランクにこの車専用（Honda純正品）以外のアクセサリーや字光式ナンバープレートを取り付けないでください。
  パワートランクが確実に開閉しないことがあります。
- パワートランクが開いている状態で、バッテリーやヒューズを交換した場合は、自動で閉まらなくなります。
  その場合は、手動でパワートランクを閉めると機能が復帰します。

●イージートランククローザー

手動でパワートランクを半ドア状態の位置まで閉めると、自動的に閉まります。

⚠注意

- 半ドア状態の位置からパワートランクが自動的に閉まるため、手などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- イージートランククローザーが作動しているときは、無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

知 識

- イージートランククローザー作動中にパワートランクのトランクオープンスイッチを引くと作動が止まり、半ドア状態のままになります。また、トランクオープンスイッチを引いたままパワートランクを閉めると、イージートランククローザーは作動しません。

●はさみ込み防止機構

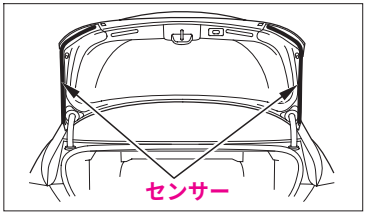
自動で開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構が作動して、パワートランクが反対側に動きます。
このとき、“ ピーピーピー ”とブザーが鳴ります。

⚠注意

- はさみ込み防止機構は、万一のときに障害物を検知して、パワートランクにはさまれてしまうことやパワートランクが損傷するのを防ぐためのものです。
  パワートランクを開閉するときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認し、頭をぶつけたり、手などをはさんだり、他のものとぶつからないようにしてください。
  特にお子さまには気をつけてください。
- パワートランクを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。また、センサーがある部分でもはさみ込みを検知できない領域があります。
  手などをはさまないように注意してください。

知 識

- パワートランク両側にあるセンサーに触れていると閉まりません。
  また、センサーを鋭利な物などで傷つけないでください。
  センサーが切断されると、自動で閉めることができなくなります。



●パワートランク落下防止機構

パワートランクを自動で開けたとき、パワートランクにこの車専用以外のアクセサリーを取り付けていたり積雪などがあると、全開直後に自動で閉まることがあります。

積雪などの重みによるパワートランクの落下を検知すると、落下防止機構が作動して自動で閉まります。

落下防止機構が作動しているときは、“ ピー ”という連続音のブザーが鳴り続けます。

知 識

- パワートランクにはこの車専用（Honda純正品）以外のアクセサリーを取り付けないでください。
- パワートランクに積雪がある場合は、パワートランクを作動させる前に雪を取り除いてください。
- パワートランク落下防止機構が作動した場合は車から離れて、パワートランクが全閉するまでお待ちください。
- 自動で全開した直後に、手動でパワートランクを閉めようとすると落下防止機構が作動することがあります。
- 落下防止機構が作動し続ける場合はHonda販売店で点検を受けてください。

●Hondaスマートキー閉じ込み防止装置

トランク内にHondaスマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴り（6回）トランクが開きます。
Hondaスマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。

Hondaスマートキーは必ず携帯し、トランク内に置かないでください。
Hondaスマートキーがトランク内にあっても、位置、周囲の環境、電波状態などにより作動が不安定となり、トランクが開かないことがあります。

Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴り、トランクが開いたときに上から手で押さえつけると、トランクを閉じることができます。
このとき、ブザーが約10秒間鳴り続けますが、グローブボックス内のトランクメインスイッチが“ ON ”のときは、ブザーが鳴っている間にトランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。
ブザーが鳴っている間にトランクを開けなかった場合、トランクは開かなくなります。

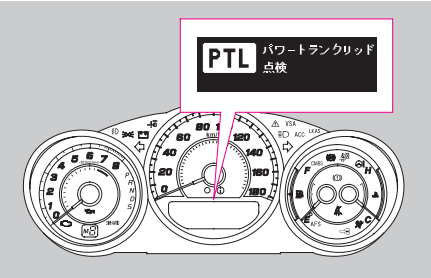
知 識

- トランクに入れる荷物などに、Hondaスマートキーが入っていないことを確認してください。
- Hondaスマートキーをトランク内に閉じ込めてしまったときは、Honda販売店へご連絡ください。
- 次のようなときにも、Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴ります。
  - Hondaスマートキーがトランクに近づきすぎているとき
  - Hondaスマートキーがリヤシェルフ上にあるとき
  - Hondaスマートキーがリヤシートの背もたれや座席に近づきすぎているとき
- トランク内にHondaスマートキーを残したまま、トランクを何度も開閉すると保護機能が働きトランクが開かなくなります。
- トランク内にHondaスマートキーがある場合でも、自動でパワートランクを閉じているときに走行を始めると、ブザーは鳴りますがトランクは開きません。

●パワートランク警告表示

パワートランクが異常のときに、マルチインフォメーションディスプレイに“ パワートランクリッド点検 ”が表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ
→124ページ



アドバイス

- 警告が表示されたときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
- 警告が表示されているときは、パワートランクの開閉は手動で行ってください。

トランクが開かないとき
→403ページ

●トランクの開閉

⚠注意

- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
  やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。
  ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

アドバイス

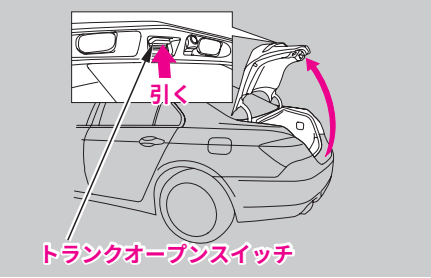
- トランクが開かないとき
→403ページ

知 識

- トランクを開けたまま走行しないでください。
  車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 運転席ドアを施錠したあとにトランクを閉めると、施錠されてトランクが開かなくなります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
  - Hondaスマートキーをトランク内に置き忘れないでください。
  - トランク上面を強く押さえないでください。
- トランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。

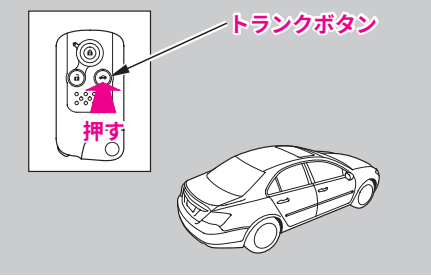
トランクオープンスイッチで行う場合

トランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。開けるときはトランクを静かに引き上げます。



キーレスエントリーで行う場合

トランクボタンを約１秒押すとトランクが解錠され浮き上がります。

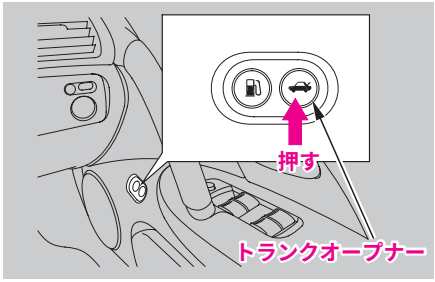


知　識

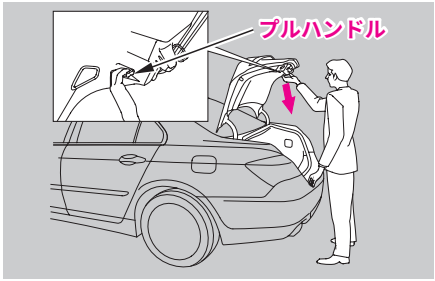
- 次の場合、キーレスエントリーのトランクボタンでは開けられません。
  - エンジンスイッチノブが“０”以外のとき
  - エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき

トランクオープナーで行う場合

運転席ドアにあるトランクオープナーを押すと解錠され、トランクが浮き上がります。

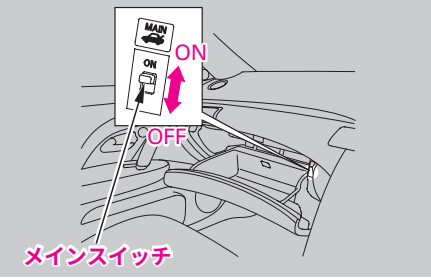


閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。



トランクメインスイッチ

グローブボックス内のメインスイッチを“ OFF ”にするとトランクを開けることができなくなります。



Hondaスマートキー閉じ込み防止装置

トランク内にHondaスマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴り（6回）トランクが開きます。
Hondaスマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。

Hondaスマートキーは必ず携帯し、トランク内に置かないでください。
Hondaスマートキーがトランク内にあっても、位置、周囲の環境、電波状態などにより作動が不安定となり、トランクが開かないことがあります。

Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴り、トランクが開いたときに上から手で押さえつけると、トランクを閉じることができます。
このとき、ブザーが約10秒間鳴り続けますが、グローブボックス内のトランクメインスイッチが“ ON ”のときは、ブザーが鳴っている間にトランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。
ブザーが鳴っている間にトランクを開けなかった場合、トランクは開かなくなります。

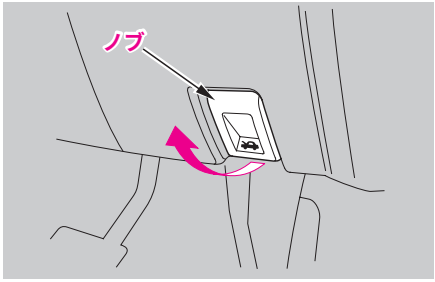
知 識

- トランクに入れる荷物などに、Hondaスマートキーが入っていないことを確認してください。
- Hondaスマートキーをトランク内に閉じ込めてしまったときは、Honda販売店へご連絡ください。
- 次のようなときにも、Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴ります。
  - Hondaスマートキーがトランクに近づきすぎているとき
  - Hondaスマートキーがリヤシェルフ上にあるとき
  - Hondaスマートキーがリヤシートの背もたれや座席に近づきすぎているとき
- トランク内にHondaスマートキーを残したまま、トランクを何度も開閉すると保護機能が働きトランクが開かなくなります。

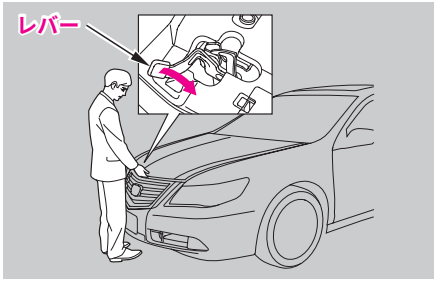
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを右へ押しながら開けます。

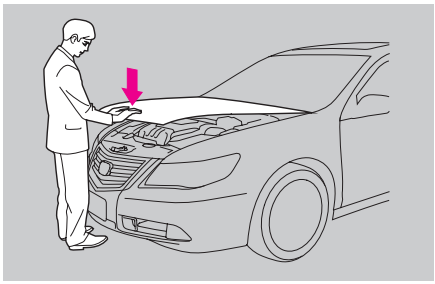


知　識

●ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

●閉めかた

ボンネットを下げ、ボンネット中央前端のロック部を手で押さえつけるように閉めます。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。

⚠注意

●ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

知　識

●ボンネットが完全に閉まっていないままで走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

●ボンネットが閉まりにくいときは、ボンネットを少し開けてから下に軽く勢いをつけ、押し付けて閉めてください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

指定燃料：無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）

タンク容量：73ℓ

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
  - ・有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
  - ・高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
  - ・軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

知 識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、一時的に無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。無鉛レギュラーガソリンの長期使用は、エンジン破損に結びつく場合があります。

●燃料補給のしかた

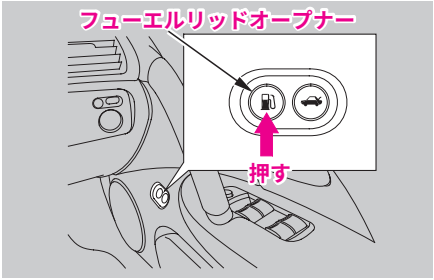
⚠警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
  燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - ・エンジンは必ず止めてください。
  - ・タバコなどの火気を近づけないでください。
  - ・こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
  - ・燃料の取り扱いは、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。
  静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

知 識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

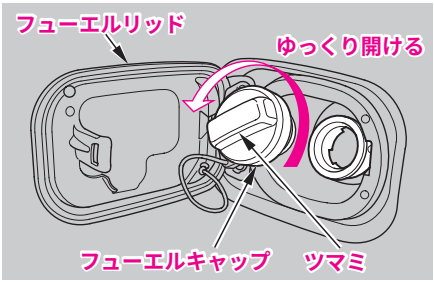
①運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押してリッドを開けます。



アドバイス

- フューエルリッドが開かないとき
→402ページ

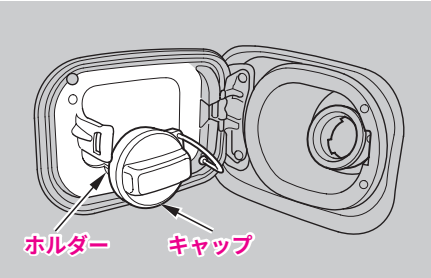
②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③ツマミを持ってフューエルキャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

●キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

④キャップはフューエルリッドにあるホルダーにかけてください。



⑤給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。
燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

⚠注意

●給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

知 識

●気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

⑥キャップを“ カチッ ”という音が１回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

●キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき、ウィンドーの開閉ができます。

▼

開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

●ウィンドーの開閉

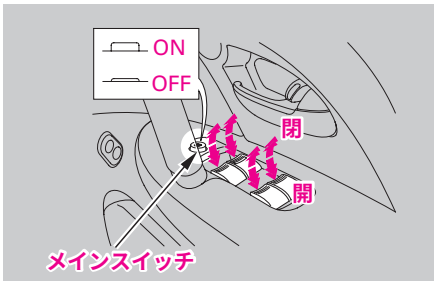
スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

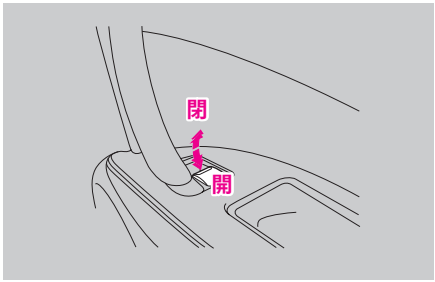
開けるとき･･･スイッチを押します。

閉めるとき･･･スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

メインスイッチ

スイッチを押すごとに“ ON ”↔“ OFF ”が切り換わります。

ON ‥‥すべてのウィンドーの操作ができます。

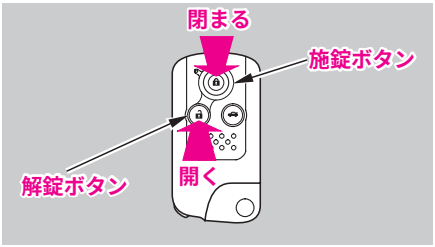
OFF‥‥運転席以外のウィンドーは操作できません。

キーレスエントリーで開閉するとき

キーレスエントリーで施錠(解錠)後、約10秒以内であれば、再度施錠(解錠)ボタンを押し続けると、押し続けている間すべてのドアのパワーウィンドーが閉まり(開き)ます。

サンルーフ装備車はサンルーフも閉まり(開き)ます。

ボタンを押し続けている途中でパワーウィンドーの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



知 識

- 以下の条件のときは、キーレスエントリーを使ってパワーウィンドーの開閉は行えません。
  - エンジンスイッチノブが“ 0 ”(プッシュオフ)以外のとき
  - ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
  - エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき
- キーレスエントリーを使ったパワーウィンドーの開閉機能を解除することができます。

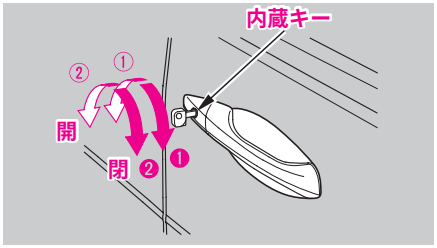
カスタマイズ機能 →330ページ

運転席ドアのキーシリンダーで開閉するとき

運転席ドアに内蔵キーを差し込んで施錠(解錠)後、内蔵キーを戻してから約10秒以内であれば再度施錠(解錠)側いっぱいに回したままにしている間、すべてのドアのパワーウィンドーが閉まり(開き)ます。

サンルーフ装備車はサンルーフも閉まり(開き)ます。

内蔵キーを回している途中でパワーウィンドーの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



知 識

- 以下の条件のときは、運転席ドアのキーシリンダーでパワーウインドーの開閉は行えません。
  - エンジンスイッチノブが“ II ”のとき
  - ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
- 運転席ドアのキーシリンダーでのパワーウィンドーの開閉機能を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

⚠警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
  ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
  特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

- 車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて行ってください。
  いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“ OFF ”にしておきましょう。

●キーオフオペレーション

エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから約10分間は、パワーウィンドーの操作ができます。
ただし、エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから約10分以内に、フロントドアを開けてから閉めると、パワーウィンドーの操作はできなくなります。

知 識

- キーオフオペレーションの作動時間の設定やその機能を解除することができます。
  カスタマイズ機能 →330ページ
- キーオフオペレーションが機能している間は、キーレスエントリーまたは内蔵キーでのパワーウィンドーの開閉はできません。
  キーレスエントリーで開閉するとき →76ページ
  運転席ドアのキーシリンダーで開閉するとき →77ページ

●はさみ込み防止機構

ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

知 識

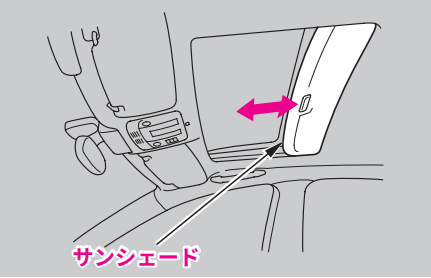
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、閉めたいドアのスイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
  その場合は、エンジンを始動しそれぞれのドアのスイッチでドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを閉め切った状態で、約１秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

サンルーフ

タイプ別注文装備

●サンシェード（遮光板）

サンシェードは手動で開閉します。
サンルーフを開けると同時に開きます。
サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全閉できません。



知　識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出ることがあります。

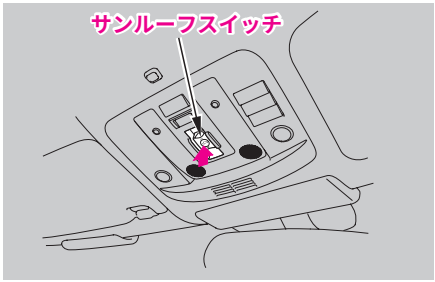
●開閉

エンジンスイッチノブが“ II ”のときサンルーフの開閉ができます。

▼

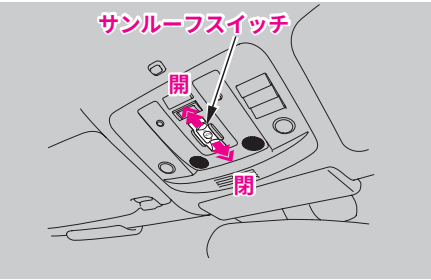
チルトアップ操作

サンルーフスイッチを押すと、自動でサンルーフ後部が上がります（チルトアップ状態）。サンルーフスイッチを前側に軽く操作している間、閉まる方向に作動します（チルトダウン）。強く操作すると自動で全閉します。



開閉操作

サンルーフスイッチを軽く操作している間、サンルーフが作動します。
強く操作すると自動で全開(全閉)します。



サンルーフが自動開閉中に、スイッチを軽く操作すると停止します。

⚠警告

- サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
  サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
  思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

アドバイス

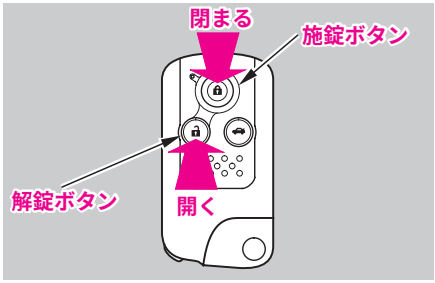
- サンルーフが停止した後はサンルーフスイッチを押し続けないでください。
  故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。
  サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。

知 識

- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

キーレスエントリーで開閉するとき

キーレスエントリーで施錠(解錠)後、約10秒以内であれば再度施錠(解錠)ボタンを押し続けると、押し続けている間サンルーフとすべてのドアのウィンドーが閉まり(開き)ます。
ボタンを押し続けている途中でサンルーフの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



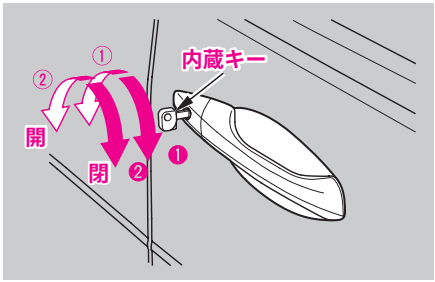
知　識

- 以下の条件のときは、キーレスエントリーでサンルーフの開閉は行えません。
  - エンジンスイッチノブが“０”(プッシュオフ)以外のとき
  - ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
  - エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき
- キーレスエントリーを使ったサンルーフの開閉機能を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

運転席ドアのキーシリンダーで開閉するとき

運転席ドアに内蔵キーを差し込んで施錠(解錠)後、内蔵キーを戻してから約10秒以内であれば再度施錠(解錠)側いっぱいに回したままにしている間、サンルーフとすべてのドアのウィンドーが閉まり(開き)ます。
内蔵キーを回している途中でサンルーフの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



知　識

- 以下の条件のときは、運転席ドアのキーシリンダーでサンルーフの開閉は行えません。
  - エンジンスイッチノブが“Ⅱ”のとき
  - ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
- 運転席ドアのキーシリンダーでのサンルーフの開閉機能を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

●キーオフオペレーション

エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから約10分間は、サンルーフの操作ができます。

ただし、エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから約10分以内に、フロントドアを開けてから閉めると、サンルーフの操作はできなくなります。

知 識

- キーオフオペレーションの作動時間の設定やその機能を解除することができます。
  カスタマイズ機能 →330ページ
- キーオフオペレーションが機能している間は、キーレスエントリーまたは内蔵キーでのサンルーフの開閉はできません。
  キーレスエントリーで開閉するとき →81ページ
  運転席ドアのキーシリンダーで開閉するとき →81ページ

●はさみ込み防止機構

サンルーフを閉じているとき、またはチルトダウンしているときに、枠とサンルーフガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、サンルーフの作動が停止して自動で反対方向に動きます。

⚠注意

- サンルーフを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

知 識

- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを閉めることができなくなったときは、応急処置としてスイッチを軽く閉方向に押し続けると、サンルーフを閉めることができます。
  サンルーフが完全に閉まるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
  応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。

セキュリティーシステム

セキュリティー(盗難防止)システムは、イモビライザーシステムとセキュリティーアラームシステムにより、お車を盗難から守るための装置です。

イモビライザーシステムについて

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

アドバイス

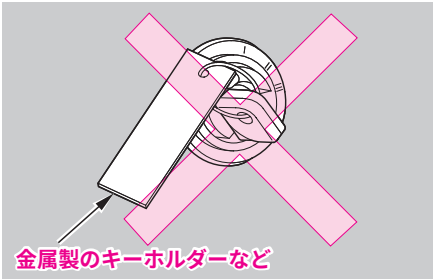
- システムを改造したりしないでください。
  エンジンシステムが故障するおそれがあります。

イモビライザーシステムは、車両とキーとの電子照合を行うとき、微弱な電波を使用しています。次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。

イモビライザーシステム表示灯

→143ページ

- 近くに強い電波を発する設備があるとき。
- キーが金属物に触れたり覆われているとき。



- 他の車両のイモビライザーシステム用のキーが近くにあるとき。

セキュリティーアラームシステムについて

このシステムは、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーを使わずにドアを開けたり、ボンネットやトランクなどを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

●警報装置について

警報装置は、セキュリティーアラームシステムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ドアまたはトランクをHondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーを使わずに開けようとしたとき
- トランクやボンネットをこじ開けようとしたとき
- エンジンスイッチノブを“ II ”にしたとき
- 内蔵キーでエンジンスイッチを“ II ”にしたとき

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。
警報装置は、セキュリティーアラームシステムを止めるまで最大５分間作動します。（ホーンおよび非常点滅表示灯は１回の警報作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。）

知　識

- セキュリティーアラームシステムの作動、非作動の設定を変更することができます。（工場出荷時は、作動に設定されています。）
  カスタマイズ機能　→330ページ

警報装置の止めかた

Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーで解錠すればその時点で警報装置は止まります。

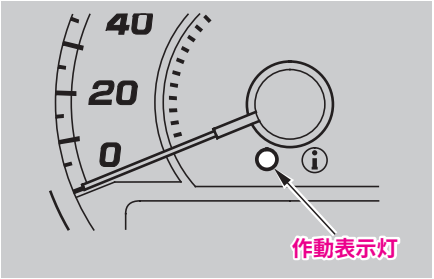
●セットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にセキュリティーアラームシステムがセットされます。

- エンジンスイッチノブを“ 0 ”(プッシュオフ)にする。
- 内蔵キーを使っているときは、エンジンスイッチを“ 0 ”にして内蔵キーを抜く。
- ボンネットを閉める。
- すべてのドアとトランクを閉め、運転席ドアを施錠する。

上記がすべて行われると、メーター内にある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティーアラームシステムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、セキュリティーアラームシステムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときは、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーでドアを解錠します。作動表示灯が消灯し、セットが解除されたことを知らせます。

知 識

- 車から離れるときは、セキュリティーアラームシステムがセットされ、作動していることを作動表示灯で確認してください。
- ボンネット、ドア、トランクのすべてが完全に閉まっていないと、セキュリティーアラームシステムはセットされません。確実に閉まっていることを確認してください。ボンネットについては実際に手で押さえつけて確認してください。

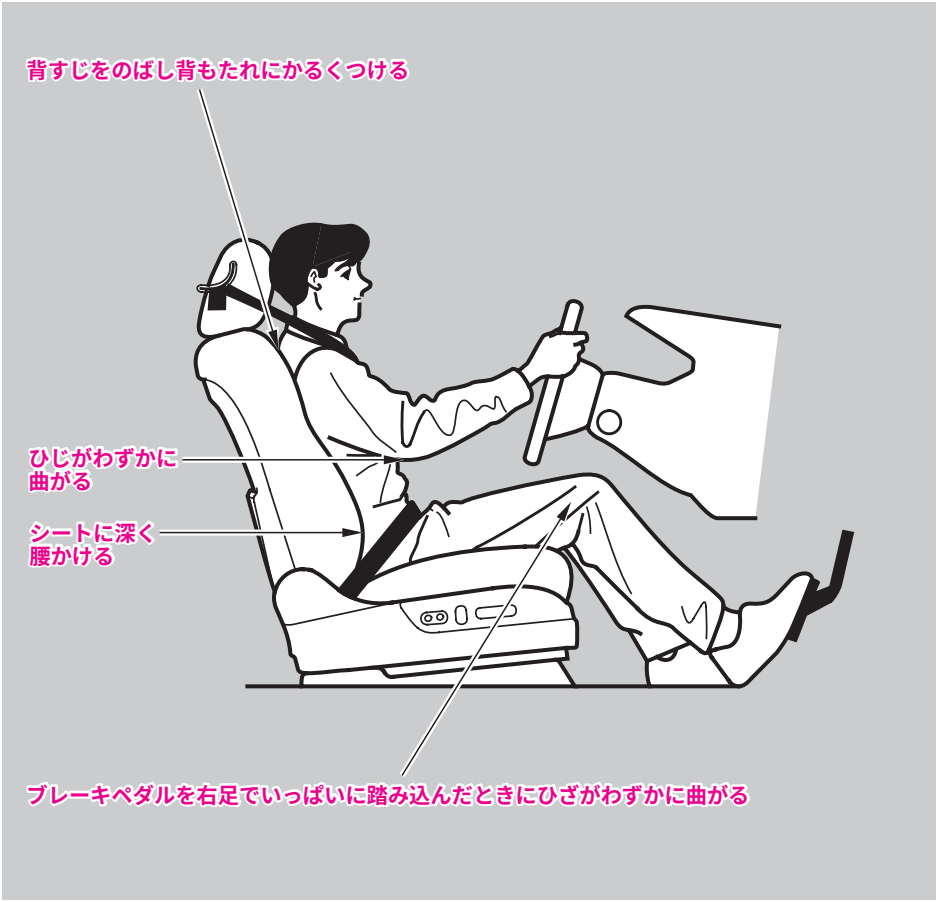
ボンネット　→71ページ

- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態でもセキュリティーアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態ではセキュリティーアラームシステムをセットしないでください。
- セキュリティーアラームシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をする際は、警報装置が作動する場合がありますので、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーでドアを解錠し、セキュリティーアラームシステムを解除してください。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。
助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。

⚠警告

- シートに深く腰かけてください。
  また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
  寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
  - 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠注意

- 背もたれと背中の間にクッションなどをいれないでください。
  正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。
  物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- シートの調節は走行する前に行ってください。

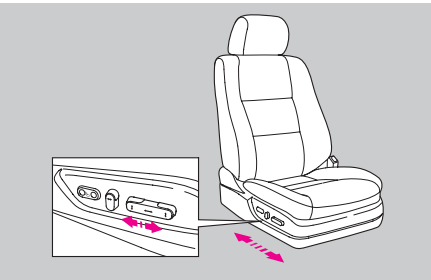
フロントシート

知 識

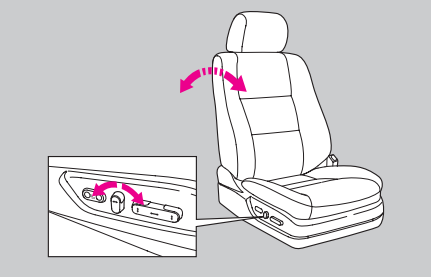
●運転席シートは、調節した位置を記憶させることができます。

ドライビングポジション システム →102ページ

●前後位置の調節

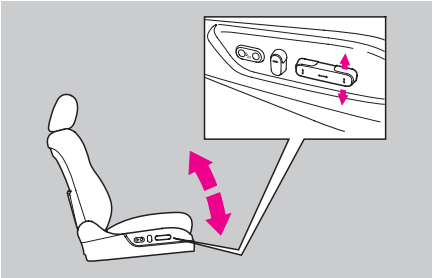


●背もたれの調節

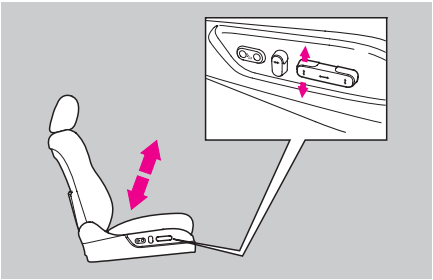


●高さの調節

シートクッション前端(チルト)



シート全体



知 識

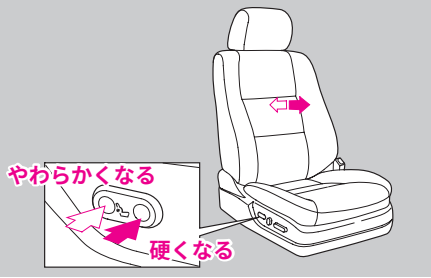
●スイッチ中央部を操作すると、シートクッション前端とシート全体の高さの調節が同時に行えます。

●ランバーサポート

背もたれ腰部の硬さを調節できます。

▼

スイッチの前側を押すと硬くなり、後ろ側を押すとやわらかくなります。



●ヘッドレストの調節

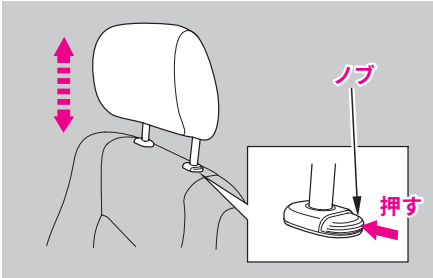
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

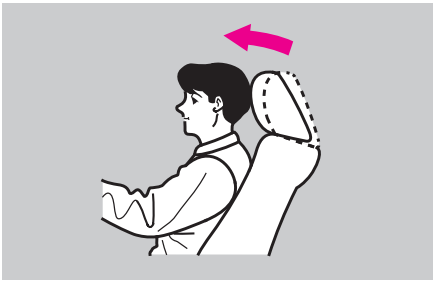


⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アクティブヘッドレストについて

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。
ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。



⚠注意

- ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けないでください。万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

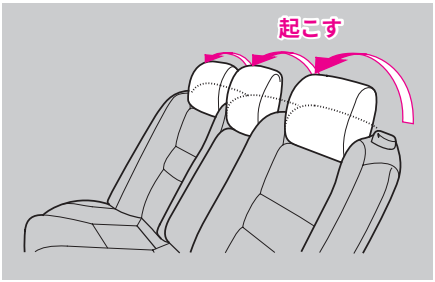
知 識

- アクティブヘッドレストは、追突されたときのみ作動し、作動後は元の位置に戻ります。

リヤシート

●ヘッドレストの使いかた

使用するときは走行する前に必ずヘッドレストを固定されるまで起こしてください。



⚠警告

- 後席に乗車するときは、ヘッドレストを格納した状態で走行しないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず起こしてください。

リヤヘッドレスト格納スイッチ

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき使えます。

車を後退させるときなど視界の妨げになるときは、リヤヘッドレスト格納スイッチを押してヘッドレストを格納してください。

知　識

- ヘッドレストを格納するときは、リヤシートに乗っている人の手などをはさまないようにしてください。
- リヤシェルフに物を置かないでください。衝突のときなどにこれらの物が飛ぶことがあります。

ハンドル・バックミラーの調節

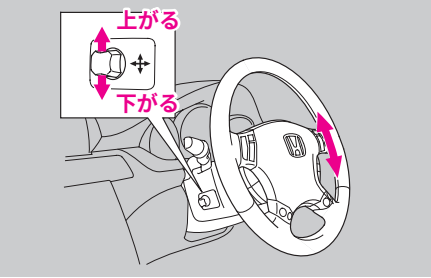
電動チルト／テレスコピックステアリング（電動上下／前後調節式ハンドル）

ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

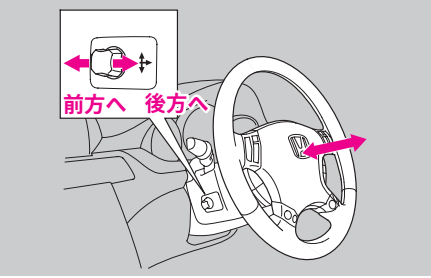
▼

スイッチを操作して調節します。

上下調節



前後調節



知 識

- 調節は走行する前に行ってください。
- 調節した位置を記憶させることができます。

ドライビングポジションシステム →102ページ

●はね上げ動作について

エンジンスイッチノブを“ 0 ”にして手を離したとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときに、ハンドルが自動的にはね上がり最も前方の位置に動きます。

エンジンスイッチノブを押し込んだとき、または内蔵キーをエンジンスイッチに差し込むと、ハンドルは元の位置に戻ります。

知 識

- 次のような操作を行うと、ハンドルのはね上げ・復帰の動作が止まります。
  - ・ハンドルの調節スイッチを操作したとき
  - ・プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき
    ドライビングポジションシステム　→102ページ
  - ・セレクトレバーを[P]から他の位置に切り換えたとき。
- 復帰動作中にエンジンスイッチノブを“ 0 ”(プッシュオフ)にしたとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときは、再度はね上げ動作をします。
- ハンドルのはね上げ動作を行わないようにすることができます。
  カスタマイズ機能　→330ページ

知 識

- バッテリーやヒューズを交換した場合は、チルト／テレスコピックの位置を記憶させるための原点(最も前方、最も上方)の記憶が消去されるため再検知が必要になります。この場合は以下の対応を行ってください。
  エンジンスイッチノブを押し込んで手を離す、または内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んで抜くと、ハンドルが自動で原点(最も前方、最も上方)に動き原点を検知します。

ルームミラー

知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

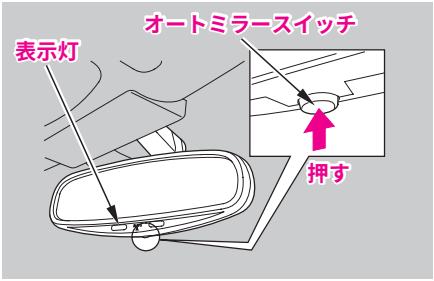
夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を自動的に弱くできます。

▼

エンジンスイッチノブが“ II ”で、オートミラースイッチが“ ON ”のとき作動します。オートミラースイッチを押すごとに“ ON ”↔“ OFF ”が切り換わります。“ ON ”のとき表示灯が点灯します。

後続車のライトでルームミラー内のセンサーが周囲より明るい光を感知すると、自動的にライトなどの反射が弱くなります。

セレクトレバーをⓇに入れているときは解除されます。

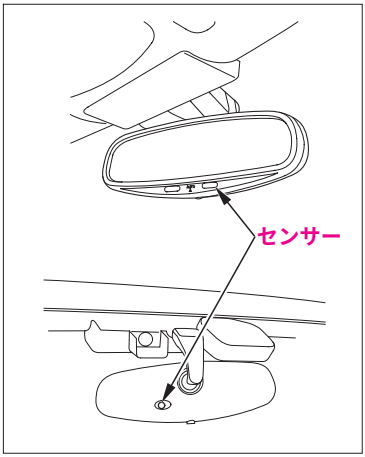


知 識

- オートミラースイッチを“ ON ”にすると、ドアミラーも連動して防眩します。

ドアミラー　→97ページ

- アクセサリーをつり下げてセンサーをふさいだり、ガラスクリーナーを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が悪くなったりして、正しく作動しなくなることがあります。



ドアミラー

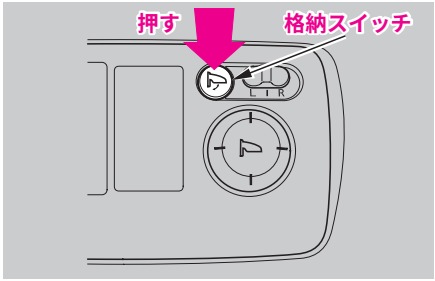
知 識
- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●格納のしかた

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。

▼

格納スイッチを押すとミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。



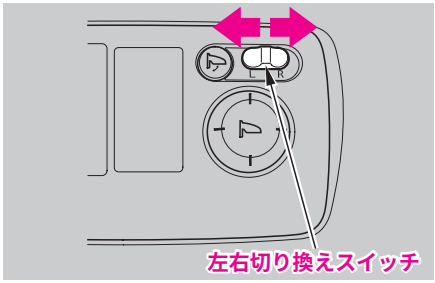
直接手で格納することもできます。

●角度調節のしかた

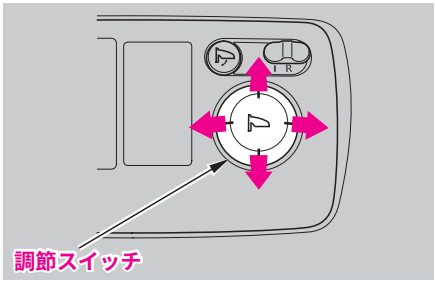
エンジンスイッチノブが“ II ”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

▼

①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。



②調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

知 識
- 調節した位置を記憶させることができます。

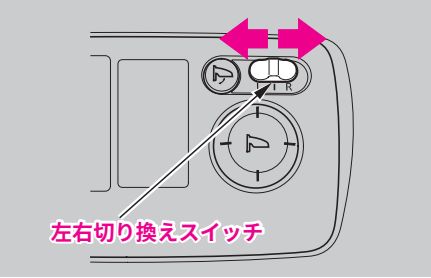
ドライビングポジション
システム　→102ページ

●リバース連動ドアミラー

後退時、車両の側面視界をよりよく確保するため、セレクトレバーのリバースと連動してドアミラーが自動的に下向きになります。

▼

①エンジンスイッチノブが“ II ”で、ドアミラーの左右切り換えスイッチがＬ側またはＲ側にあることを確認します。



②セレクトレバーをⓇの位置にすると左右切り換えスイッチを動かした側のミラーが下向きになります。

③セレクトレバーをⓇ以外の位置にすると元の位置に戻ります。

知　識

●次の場合にも、ミラーが元の位置に戻ります。
- 左右切り換えスイッチを中間位置にしたとき
- エンジンスイッチノブを“ II ”以外にしたとき

●リバース連動ドアミラーは、ドアミラーの左右切り換えスイッチが中間位置にあるときは作動しません。作動させるには、左右切り換えスイッチをＬ側またはＲ側にしてください。

●防眩式ドアミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を自動的に弱くできます。

▼

エンジンスイッチノブが“ II ”で、オートミラースイッチが“ ON ”のとき作動します。

オートミラースイッチ　→96ページ

オートミラースイッチを押すごとに“ ON ”↭“ OFF ”が切り換わります。“ ON ”のとき表示灯が点灯します。

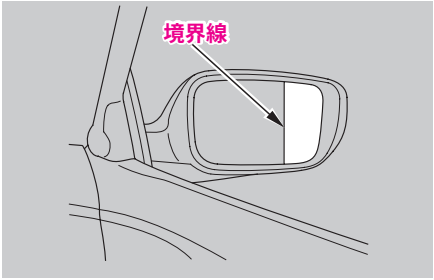
後続車のライトでルームミラー内のセンサーが周囲より明るい光を感知すると、自動的にライトなどの反射が弱くなります。

セレクトレバーをⓇに入れているときは解除されます。

●広角タイプドアミラー

ミラー表面にある境界線の内側と外側で曲率の異なる鏡を使用し、外側は通常のドアミラーよりも広い視界を映すことができます。

死角を少なくし、後方視認性と安全性を向上させます。



知　識

●境界線より外側に映る物は、通常のドアミラーよりも遠くにあるように見えます。

●ヒーテッドドアミラー

ヒーテッドドアミラースイッチ（リヤデフロスタースイッチ兼用）を押すとミラーが暖められ曇りが取れます。

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき、スイッチを押すと“ ON ”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“ OFF ”になり、作動表示灯は消灯します。

知 識

- ヒーテッドドアミラースイッチを押すと、リヤガラスの曇り取りも同時に機能します。
  リヤデフロスター　→185ページ
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“ OFF ”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- エンジンスイッチノブを“ II ”にしたとき、外気温が５℃以下の場合は、自動的に“ ON ”になります。スイッチを押すか、自動で“ ON ”になった場合、“ ON ”のままで約10分経過後自動的に“ OFF ”になります。

●アクアクリーンミラー（親水ミラー）

タイプ別装備

ミラー表面には、付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングをほどこしており、雨天時などにおける後方視認性を向上させます。

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、水道水をかけて洗い流し、太陽光を当てることにより効果が回復します。

親水効果を早く回復させたいとき
→419ページ

アドバイス

- フロントドアガラスに撥水剤やボディにワックスを塗布するときは、ミラー表面に撥水剤やワックスが付着しないようにドアミラーを布などで覆ってください。
  ミラー表面にこれらの物が付着すると親水効果を失います。
- ミラー表面が凍結しているときは、ヒーテッドドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。
- 砂の付いた布や油膜取り剤（コンパウンドなど）でミラー表面をこすらないでください。
  ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。

知識

- 汚れや水滴を拭き取るときは、きれいな布で拭き取ってください。
- 水洗いでミラーの汚れが落ちない場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ることで回復できます。
- 次のようなときは、一時的に親水効果が低下しますが異常ではありません。親水効果は数日間の日射で回復します。
  - 素手でミラーに触れたり油のついた布などでミラー表面を拭き取ったとき。
  - 自動洗車機のワックスがミラー表面に付着したとき。
  - 長期間、地下駐車場など日の当たらないところに駐車したとき。

  親水効果を早く回復させたいとき　→419ページ
- 自動洗車機で洗車するときは、ミラー表面に洗剤やワックスが付着しないようドアミラーを格納してください。

格納のしかた　→97ページ

ドライビングポジションシステム

ドライビングポジション システムについて

次の位置を２種類記憶させ、それぞれの位置に自動で調節させることができます。

運転席シート	・前後位置 ・背もたれの角度 ・上下位置
ハンドル	・上下位置 ・前後位置
左右 ドアミラー	・上下位置 ・左右位置
ヘッドアップ ディスプレイ インテリジェント・ナイトビジョンシステム装備車	・映像の上下位置

ドライバー１のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーでドアを解錠するとプリセットボタン１で記憶した位置に、ドライバー２のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーでドアを解錠するとプリセットボタン２で記憶した位置に自動で調節されます。
内蔵キーでドアを解錠すると、プリセットボタン１（ドライバー１）またはプリセットボタン２（ドライバー２）で記憶したどちらか一方の位置に自動で調節されます。

内蔵キー　→45ページ

運転席シートと左右ドアミラーは運転席ドアを開けたときに、ハンドルは、エンジンスイッチノブを押し込んだときまたは、内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んだときに、調節されます。
ヘッドアップディスプレイは、インテリジェント・ナイトビジョンシステム作動時に調節されます。

知　識

- 解錠時のメモリーシート連動機能を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

●記憶のさせかた

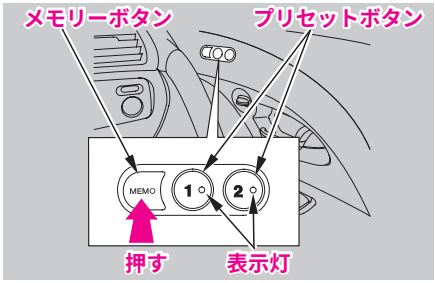
知　識

●操作は走行する前に行ってください。

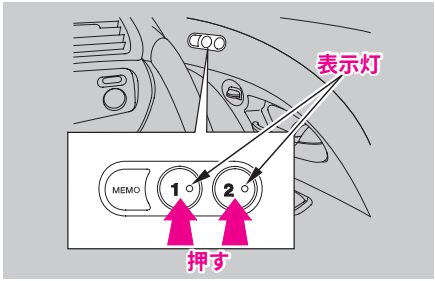
①エンジンスイッチノブを“ II ”にします。
②運転席シート、ハンドル、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイを適当な位置に調節します。

フロントシート　→90ページ
電動チルト／テレスコピック
ステアリング　→94ページ
ドアミラー　→97ページ
ヘッドアップディスプレイ
→インテリジェント・ナイト
ビジョンシステム取扱説明書

③メモリーボタンを押します。“ ピッ ”と１回音がして、プリセットボタン内の表示灯が２つとも点滅します。



④ボタン内の表示灯が２つとも点滅している間（メモリーボタンを押してから５秒以内）に“ １ ”または“ ２ ”のプリセットボタンを、“ ピッピッ ”と２回音がするまで押します。記憶されると押したボタン内の表示灯が点灯します。
“ １ ”と“ ２ ”の２つのドライビングポジションを記憶することができます。



記憶の消去

新しく位置を記憶させると、前の記憶は消去されます。バッテリーやヒューズを外した場合にも、記憶は消去されます。

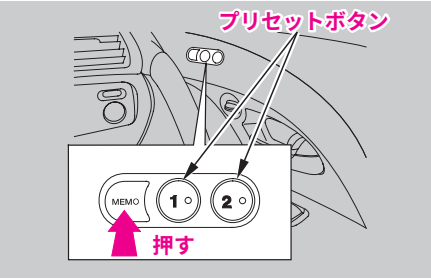
●記憶の呼び出しかた

プリセットボタンを押すと記憶させたドライビングポジションを呼び出すことができます。

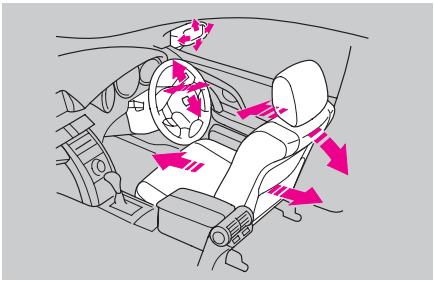
知　識

- 操作は走行する前に行ってください。

①セレクトレバーがⓅの位置にあることを確認します。
②運転者のドライビングポジションを記憶させた側のプリセットボタンを押します。



③運転席シート、ハンドル、ドアミラーが自動的に動き出し、ボタン内の表示灯が点滅します。
ヘッドアップディスプレイは、インテリジェント・ナイトビジョンシステム作動時に調節されます。



④記憶させた位置に調節されるとピッピッと２回音がして、ボタン内の表示灯が点灯します。

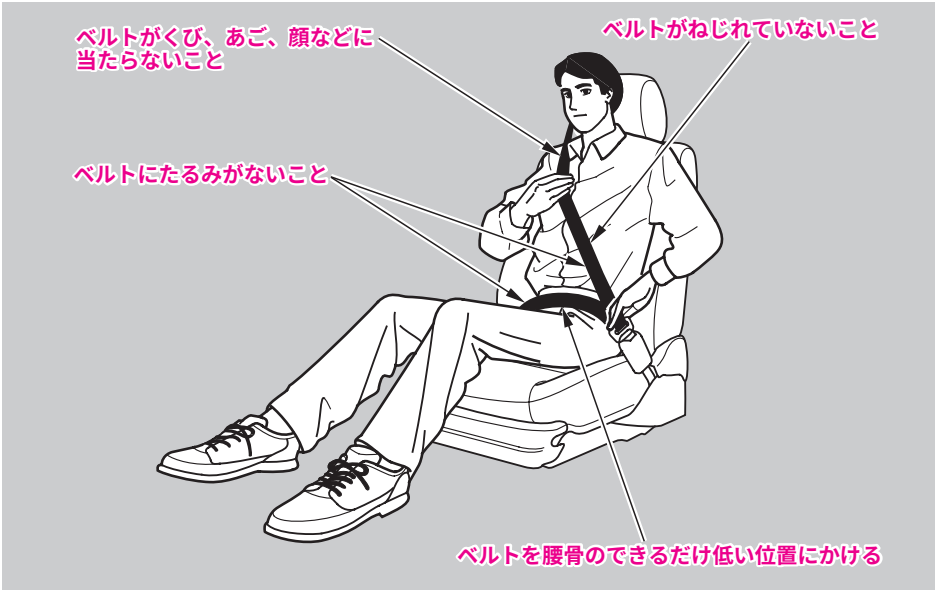
知 識

- エンジンスイッチノブが“ 0 ”(プッシュオフ)のときまたは、内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、運転席シートとドアミラーのみが調節されます。エンジンスイッチノブを押し込んだときまたは、内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んだときに、ハンドルも自動的に調節され、“ ピッピッ ”と２回音がします。
- 次のような操作を行うと、自動調節の動作が止まります。
  - シート、ハンドル、ドアミラーの調節スイッチを操作したとき
  - プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき
  - セレクトレバーを[P]から他の位置に切り換えたとき

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

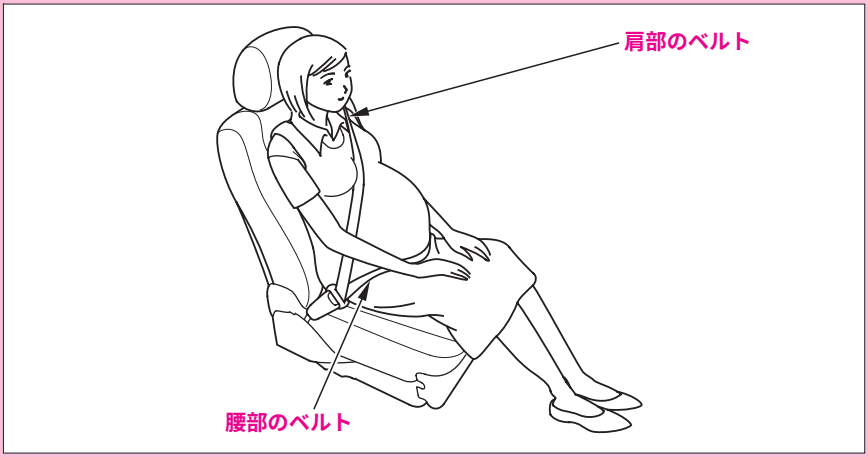


⚠警告

- シートベルトは全員が着用してください。
  着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
  寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
  お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

⚠注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
  - 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
    ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
  - ベルトはねじれがないように着用してください。
    ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
  - ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
  - 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
  - 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
    ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
  - ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。
  ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
  - 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
  - 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。
    また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

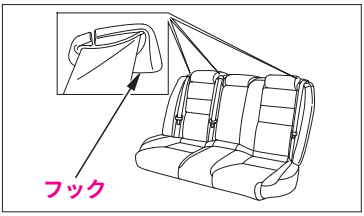
ELR付三点式シートベルト：
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：
通常はELRシートベルトとして機能します。
ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト　→114ページ

●三点式シートベルト

知 識
- リヤシートのシートベルトを使うときは、フックから取り外さないでください。



テンションリデューサー(前席のみ)
ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチノブが“ II ”でシートベルトを着用したときに、はたらきます。

シートベルトリマインダー(非着用警報装置)
エンジンスイッチノブを“ II ”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯し続けます。
また、エンジンスイッチノブを“ II ”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。
(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知 識
- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーをⓇに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)
→114ページ

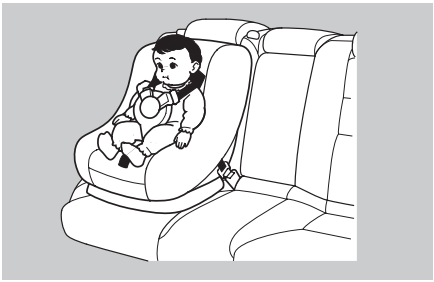
知 識
- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。
  このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
  解除のしかた →115ページ

シートベルトプリテンショナー(前席のみ)
→244ページ

E-プリテンショナー(前席のみ)
ACC/LKAS装備車
→246ページ

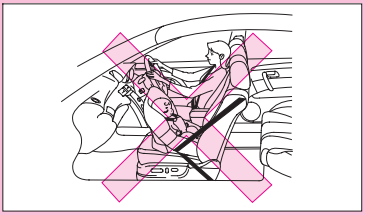
●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。
ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。
  また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



知 識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。
- ISOFIX対応以外のチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。トップテザーアンカレッジにトップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。
  後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

車両限定型ISOFIX取付装置　→116ページ

- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISOFIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用(ベビー)シート	～10	～75	～12か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用(ジュニア)シート	15～32	100～135	4才～10才

車両限定型ISOFIXチャイルドシート

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用(ベビー)シート	～9	～70	～9か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

●次のような場合はベルト一式を交換してください。
- ベルトを着用した状態で事故にあったとき。
- シートベルトプリテンショナーが作動したとき。
  シートベルトプリテンショナー
  →244ページ
- ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたとき。

●シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

●ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

①正しい運転姿勢でシートにすわります。
（→88ページ）

②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。

③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。

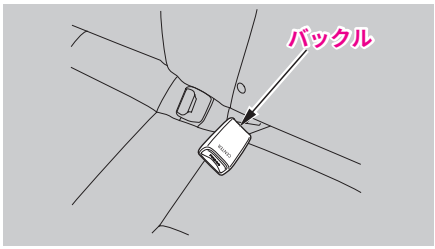
④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。

⑥外すときはバックルのPRESSボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

後席中央

タングプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。バックルに“ CENTER ”(センター)の表示があります。

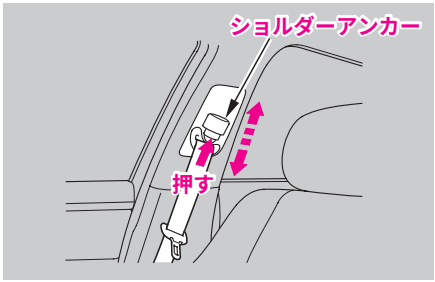


ショルダーアンカーの高さ調節(前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。

▼

通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

後席の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かさないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。
取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠警告

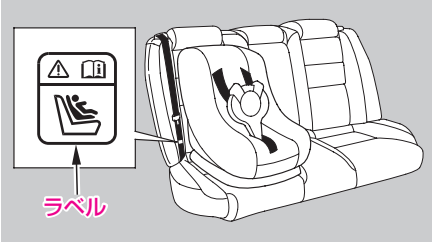
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

知 識

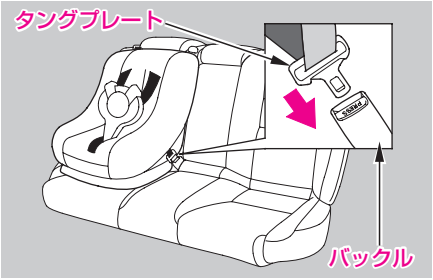
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるとき
  車両限定型ISOFIX
  取付装置 →116ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

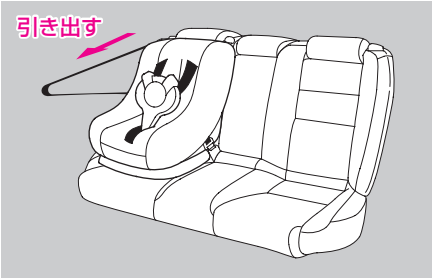
①チャイルドシートをリヤシートに置きます。



②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。

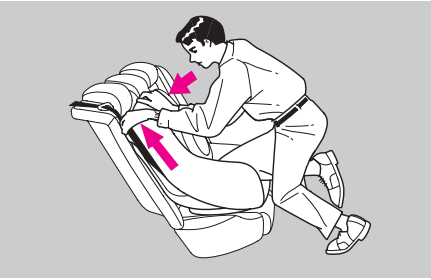


④ベルトを少し巻き取らせます。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。
  ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。



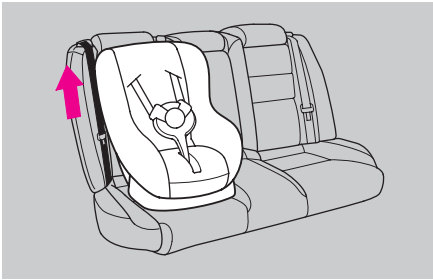
⚠注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
  確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

①チャイルドシートからベルトを外します。

②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



車両限定型ISOFIX取付装置（後席外側 2 座席）

後席外側の 2 座席には、車両限定型ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この車用に認可を取得した車両限定型ISOFIXチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。
チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。
後席に後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。
チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。
Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。
ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

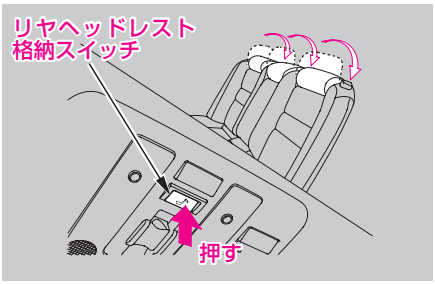
知 識

●チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

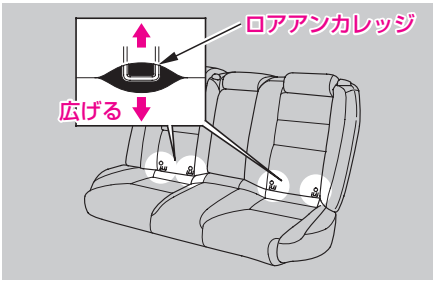
チャイルドシート固定機構付きシートベルト →114ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

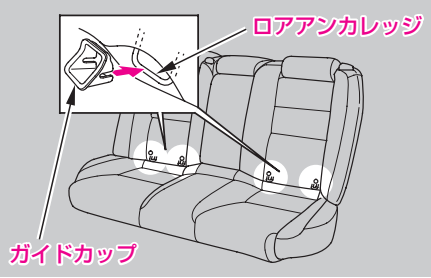
①エンジンスイッチノブが“II”のときにリヤヘッドレスト格納スイッチを押してリヤヘッドレストを倒します。



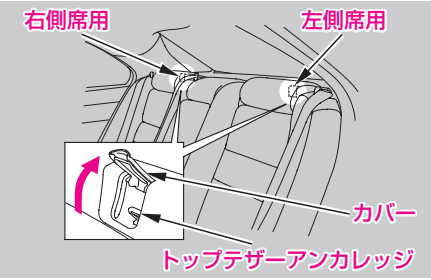
②シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、ロアアンカレッジの位置を確認します。



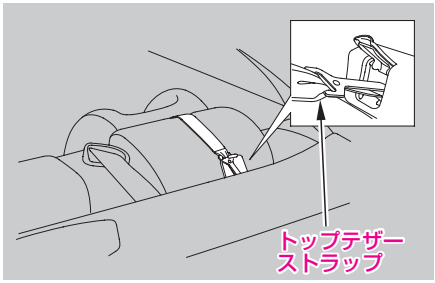
③異物やシートベルトなどをかみ込まないようにチャイルドシートに同梱のガイドカップをロアアンカレッジに差し込みます。



④チャイルドシートを取り付ける座席の真後ろ側のカバーを開けて、トップテザーアンカレッジの位置を確認します。

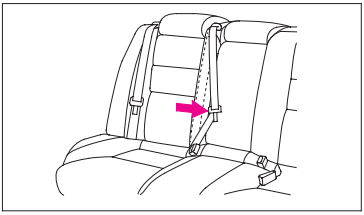


⑤チャイルドシートとトップテザーストラップをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。

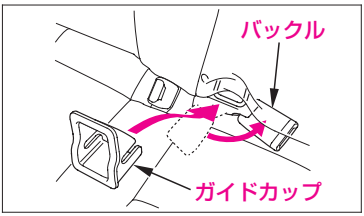


知 識

- 右側席にガイドカップを差し込むときは、中央席シートベルトを右側席シートベルトのバックルよりも中央席寄りに動かしてください。



- 左側席にガイドカップを差し込むときは、中央席シートベルトのバックルを左側席のシートクッションと背もたれのすき間に押し込んでから差し込んでください。



- 左側席にチャイルドシートを取り付けたときは、中央席はご使用になれません。

⚠注意

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるときは、ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。
  異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
  確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。